

2024年12月25日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

大阪大学（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

【格付理由】

懐徳堂（大坂商人の学問所）と適塾の市民精神を源流とし、1931年に設置された帝国大学。大阪政財界や府民の熱意ある活動により開設された。統合した大阪外国語大学も実業家の寄付を資金に創設された経緯があり、社会連携の精神に優れる。産業界や学問・芸術分野に著名な人材を多く輩出しており、社会的評価が高い。文部科学省所管の国立大学法人であり、教育研究を先導する指定国立大学の指定を受けている。教育政策上の極めて高い重要性和大阪大学自体の事業基盤の強さを格付に反映している。

大学を主とする高等教育機関は教育と研究、社会貢献に寄与する公共財として非常に重要な役割を果たす。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として政策上の重要性が極めて高い。国立大学の法人化以降、20年が経過した。この間に運営費交付金などの財政面のサポートは徐々に弱まったが、政府は国立大学に自律的な運営の確保を求め、各種施策や法律改正などを通じて後押ししてきた。政府との緊密な関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関の一角として強固な信用力を備える。

実学重視の学風を持ち、産学連携面での実績が豊富。2016年度以降、企業との包括連携契約による「組織」対「組織」の大型産学連携に乗り出し、受託研究費、共同研究費、奨学寄附金などを合計した外部資金受入額は右肩上がりだ。共同研究費の受入額は2022年度に初めて100億円を超え、2023年度はさらに増加して約113億円に達し過去最高を更新した。学術貢献費（企業が研究者の学術的知見などに対する適正対価を負担）の導入も増えつつあり、今後も堅調に推移しよう。外部資金の拡大は優れたマネジメント力を示している。

病院部門は医学部附属病院と歯学部附属病院を運営する。前者は高度医療サービスを提供する特定機能病院、最先端医療の研究に取り組む臨床研究中核病院の役割を果たし、後者は教育・研究の両面で口腔医療に貢献している。2024年度は高額医薬品の使用増等に伴う影響などにより両院とも業務損益は赤字になった。2025年度も環境は厳しい。2025年5月に開院予定の「統合診療棟」は資材費・労務費の上昇などで総工費が増加したものの、稼働後は患者数の確保により安定した収支が見込める。2025年度以降に新病棟の建設を検討していることもあり、収支の動向を見守る。

大阪大学は規模の大きな特定国立大学法人に分類され、重要案件の議決や法人の執行状況を監督する運営方針会議の設置が義務付けられた。同会議は学内3人（総長、統括理事2名）、学外6人の合計9人から成り、女性3人、外国人1人の任命で多様性も確保している。一方、財務マネジメントと資源再配分機能の強化を目的に2025年春にCFO及びCFOオフィス、CIO及び資金運用室の設置を計画している。寄附金や運用益の増加により経営上の選択肢を広げ、実行力を高めていく。優れた研究力を背景に、国際卓越研究大学の第2回公募に申請する予定。認定を取得し、経営基盤強化に一段と弾みがつくか、注視していく。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/does/policy/site.html> をご覧ください。

【格付対象】

発行者：大阪大学

【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第1回大阪大学債券	300億円	2022年4月28日	2062年3月17日	AA+

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	大阪大学
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2024年12月25日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]、事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/does/policy/site.html> をご覧ください。